

1999年の福井県嶺南地方におけるナガサキアゲハの記録

和田 茂 樹*

The Occurrence Records of *Papilio memnon thunbergii* Siebold in Reinan District, the Southern Part of Fukui Prefecture, Japan, in 1999

Shigeki WADA*

ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* Siebold の分布の北上現象は、既に福田ほか(1982)などで指摘されており、福井県でも1993年に三方郡三方町で初めて1♂が採集され(下野谷, 1993)、さらに1995年には敦賀市で1♀が採集されている(石井, 1996)。1999年8月には、筆者も福井県嶺南地方において本種を採集・目撃したので報告する。報告にあたり、標本写真撮影の労をとって頂いた長田勝氏にお礼申し上げる。採集個体の標本は筆者が保管している。

採集・目撃記録

1♀, 敦賀市明神町, 23. VIII. 1999, 筆者目撃

1♀, 大飯郡大飯町日角浜, 25. VIII. 1999, 筆者採集(写真1)

1999年8月23日正午頃(晴れ)、敦賀市明神町の猪ヶ池に沿う遊歩道で、低木にまわりつくように緩やかに飛翔する本種メスを発見、採集しようと近寄ったところ、急に飛翔速度を上げて猪ヶ池側の樹林内に逃げ込んだ。その後、樹林内を再び緩やかに飛び続けたため筆者はその後を追ったが、樹木が密生していたために、僅か1メートル以内にまで近寄りながらネットを振ることができなかった。結局、本個体は発見から約15分後に樹梢に飛び去り、採集には至らなかった。後翅の白色斑の発達度は、以下に述べる大飯町で採集した個体と同程度であったと思われる、目立った破損はなかったが、詳しい特徴についてはわからない。

また、1999年8月25日午後4時10分頃(晴れ)、大飯町日角浜の県道241号線を車で走行中、道沿いのクサギの花で吸蜜する本種メスを発見、すぐに車を止めてネットを取り出し、採集した。採集した個体は、破損の少ない後翅に比べ、前翅の鱗粉がかなり剥げ落ちており、右前翅は大きく欠損している。

筆者は1999年にはトンボ類の調査で若狭湾岸地域を数回訪れているが、特に本種を探したわけではないにもかかわらず立て続けに2頭も確認できたことから、福井県嶺南地方における本種の個

* (〒918-8004 福井市西木田3-8-18)

体数は、定着の有無にかかわらず、かなり増加してきているのではないかと推測される。越冬蛹や春型成虫の発見による定着の裏付け、さらに嶺北地方での発見が今後の課題であろう。

なお、昨年(1998年)9・10月に県内の高浜町と河野村で計8頭の夏型成虫が採集されたウスイロコノマチョウは、今年の筆者の調査では発見できなかった。

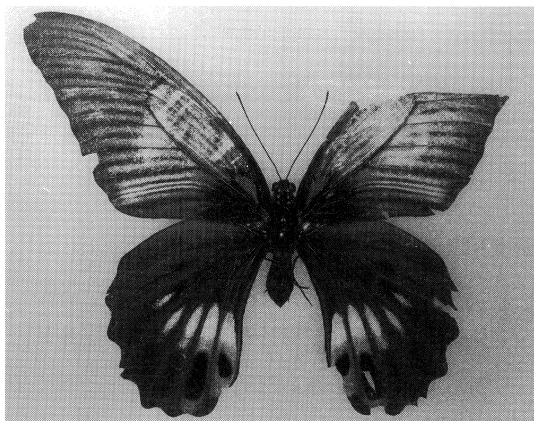


写真1

♀, 大飯郡大飯町日角浜, 1999年8月25日採集

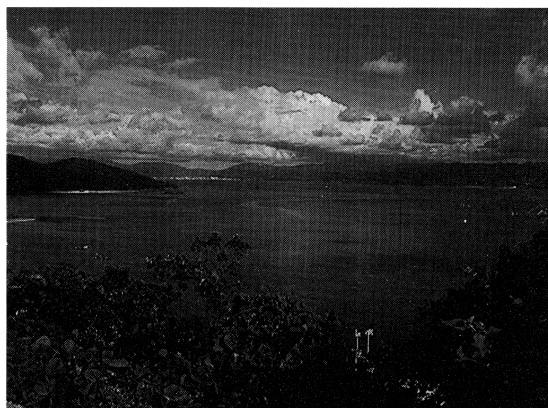


写真2

大飯町日角浜の採集地 (1999年8月25日撮影)

参 考 文 献

- 石井 正. 1996. ナガサキアゲハ♀1頭を敦賀市で採集. 東大昆虫同好会会報, (102): 7.
- 長田 勝. 1998. 福井県におけるナガサキアゲハの進出. 昆虫と自然, 33(14): 17-18.
- 下野谷豊一. 1993. 福井県三方郡三方町で見つかったナガサキアゲハ. 福井市自然史博物館研究報告, (40): 90.
- 福田晴夫・浜 栄一・葛谷 健・高橋 昭・高橋真弓・田中 蕃・田中 洋・若林守男・渡辺康之. 1982. 原色日本蝶類生態図鑑Ⅰ. 保育社.
- 和田茂樹. 1998. 福井県におけるウスイロコノマチョウの採集記録. 福井市自然史博物館研究報告, (45): 67-68.